

# 28年センター試験確定志願者数は、前年より 4,633人(0.8%)増の56万3,765人!

現役2年連続増加。増加の90%以上女子。現役志願率43.4%で過去最高。

旺文社 教育情報センター 27年12月

大学入試センターはこの程、28年1月16・17日に実施される28年センター試験の確定志願者数を発表した。志願者数は56万3,765人で、27年より4,633人(0.8%)増え、3年ぶりの増加となった。現役生は2年連続の増加となったが、既卒者は2年連続の減少である。男子は3年ぶり、女子は2年連続の増加。特に女子は増加人数の90.6%を占めている。

都道府県別では、全体で前年比0.8%増の中、香川の6.1%増を筆頭に32都道府県が増加した。23年3月の東日本大震災から4年半以上たった東北3県の出願状況は、岩手2.6%増、福島1.4%増と、2県は全国平均を上回ったものの、宮城は1.2%の減少となった。現役志願率は43.4%で、27年のそれまで最高の42.5%を更新して過去最高。

●志願者数 563,765人(559,132人；4,633人増、0.8%増)

<内 訳>

○高校等卒業見込者(現役生) 462,332人(455,392人；6,940人増、1.5%増)

○高校等卒業生(既卒者) 96,454人(98,728人；2,274人減、2.3%減)

○「高認」合格者・その他 4,979人(5,012人；33人減、0.7%減)

○現役志願率 43.4%(42.5%；0.9ポイント上昇)

○男女別

① 男子 314,285人<55.7%>(313,851人<56.1%>)

② 女子 249,480人<44.3%>(245,281人<43.9%>)

○都道府県別(出身高校等別による)

① 志願者数が増加した主な都道府県

香川(6.1%増)／滋賀(3.6%増)／和歌山(3.5%増)／埼玉(3.2%増)／愛媛(2.9%増)／岡山(2.8%増)／山梨(2.7%増)／岩手(2.6%増)／神奈川(2.3%増)／栃木(2.1%増)等

② 志願者数が減少した主な府県

福井(4.1%減)／山形(3.6%減)／大分(3.5%減)／高知(3.5%減)／秋田(3.4%減)／富山(3.3%減)／島根(3.3%減)／奈良(3.1%減)／沖縄(2.6%減)／青森(2.3%減)等

③ 現役志願率の高い主な都県

東京(56.2%)／広島(54.9%)／愛知(52.1%)／富山(50.6%)／山梨(49.4%)／石川(48.7%)／新潟(46.9%)／群馬(46.3%)／栃木(45.9%)／福岡(45.9%)等

○成績通知希望別

① 通知希望者 428,783人<76.1%>／② 通知を希望しない者 134,982人<23.9%>

注1. 都道府県別の現役志願率を除く( )内は、27年データ及び27年対比の増減、等。

注2. < >内は構成比率。

注3. 「高認」は高等学校卒業程度認定試験の略。

## 【特記】

### ① 志願者数

- 28年3月の高卒者数は、今春に比べ約1万人、0.9%減の約105万9,000人と推測される(旺文社推定、通信制課程含まず)。
- 上記のように、来春の高卒見込者数が減少する状況で、28年センター試験志願者数が前年より4,633人(前年比0.8%)増の56万3,765人と、3年ぶりに増加した主な背景としては、次のような点が挙げられる。
- 現役生の大学への進学志向を示す現役志願率は、23年(55.4%)～26年(54.9%)の4年間における下降もしくは停滞(25・26年=54.9%)から、27年は55.5%と5年ぶりの上昇に転じている。28年もこうした進学志向の高まりは引き継がれているとみられる。  
センター試験の現役志願率が過去最高(後述)になったのも、こうした要因が挙げられよう。
- ただ、4,633人の志願者増をみると、男子が434人増(増加人数の9.4%)に対し、女子が4,199人増(同90.6%)で、90%以上が女子の増加である。特に、関東・首都圏を中心に大都市圏での増加が目立つ。  
これは、女子高も含めた高校側の女子高生へのセンター試験受験の働きかけが、より広がっていることをうかがわせる。
- 私立大のセンター試験利用は、参加大学数が前年よりやや増えたものの、センター試験利用入試の募集人員は頭打ち状態にあるとみられる。  
なお、28年のセンター試験利用大学・短大は、私立4大学増の国公私立693大学／公立1短大減、私立2短大減の157公私立短大である(27年12月初旬現在)。

### ② 現役志願率

平成2(1990)年のセンター試験(現役志願率15.0%)開始以来、毎年、上昇の一途をたどっていたセンター試験の現役志願率は、23・24年の41.6%(同率)／25・26年の42.1%(同率)と、2度の“停滞状態”を経て、27年は42.5%の上昇に転じた。

28年は、27年を0.9ポイント上回る43.4%となり、過去最高を更新した。

### ③ 現役生、既卒者の志願者数

- センター試験志願者の現役生は20年に減少したが、21年～23年は3年連続で増加。24年は4年ぶりの減少、25年は高卒者数の3年ぶりの増加などで2年ぶりに約2万人(4.6%)増の約46万人だった。26年は高卒者数の2年ぶりの大幅減などから、現役志願者も2年ぶりに減少した。27年は、高卒者数の増加と大学現役志願率の上昇などから、現役志願者数は2年ぶりに約1万2,000人(2.7%)増の約45万5,000人となった。  
28年は、前述のように高卒見込者数は減少するものの、大学現役志願率の上昇傾向と女子の志願者増によって、前年より約7,000人(1.5%)増の約46万2,000人となった。
- 一方、既卒者は前年より約2,300人(2.3%)減の約9万6,000人で、2年連続の減少である。

#### ④ 高校等の学科別でみた出願状況

高校等の志願者(現役・既卒含む)の9割以上を占める普通科の志願者数は、前年より4,594人(0.9%)増の51万3,260人(構成比率91.9%)である。

一方、多くの学科が増加した中、農業科は8.6%減、理数科は1.8%減である。

#### ⑤ 都道府県別でみた主な出願状況

##### \* 志願者数 :

東京が7万1,024人で例年どおり突出していて、これに愛知(3万8,527人)、神奈川(3万5,863人)、大阪(3万2,009人)、埼玉(3万1,053人)、千葉(2万4,802人)、兵庫(2万4,699人)、福岡(2万3,429人)と、27年と同様の顔ぶれが続く。

今回特に増加した人数が多かったのは、東京(1,447人増)、埼玉(951人増)、神奈川(792人増)、大阪(363人増)、広島(257人増)、愛知(255人増)、香川(253人増)など。

一方、減少した人数が多かったのは、静岡(371人減)、奈良(226人減)、富山(179人減)、山形(164人減)、沖縄(162人減)、福井(158人減)など、地方が目立つ。

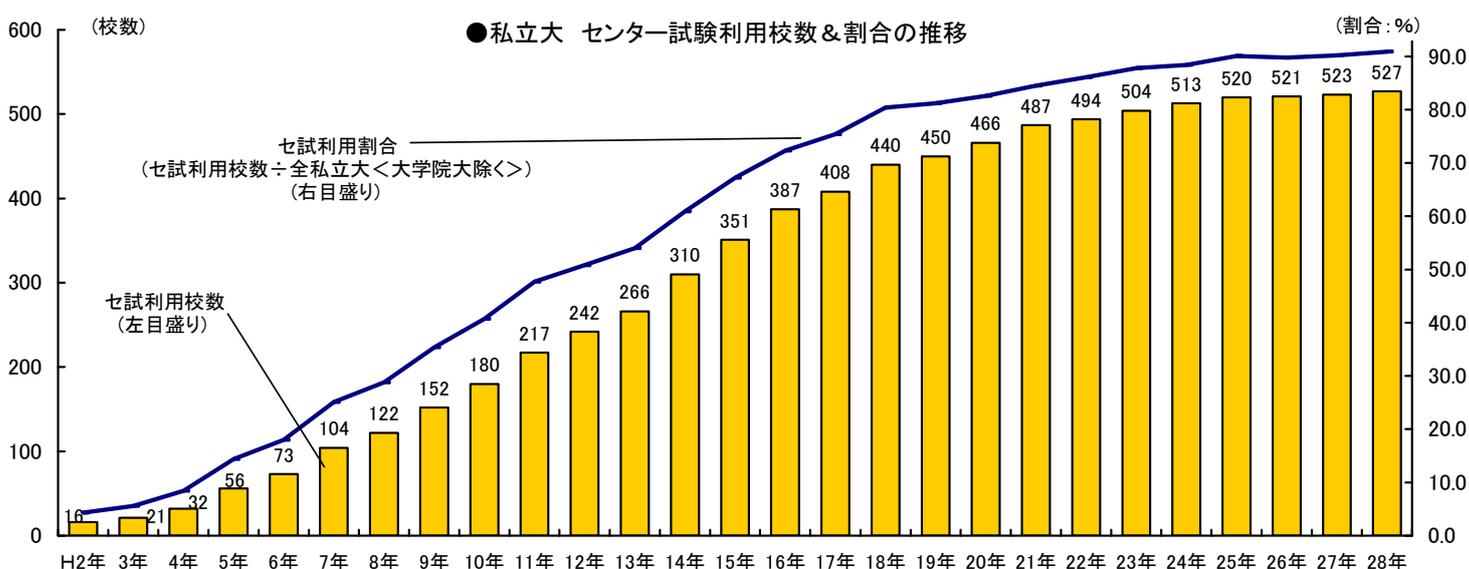
##### \* 現役志願率 :

東京(現役志願率56.2%)が4年連続で首位をキープし、これに2位広島(同54.9%)・3位愛知(同52.1%)以下、富山、山梨、石川、新潟、群馬、栃木、福岡、埼玉、愛媛、島根、茨城、岩手と、45%以上の高率が続いている。

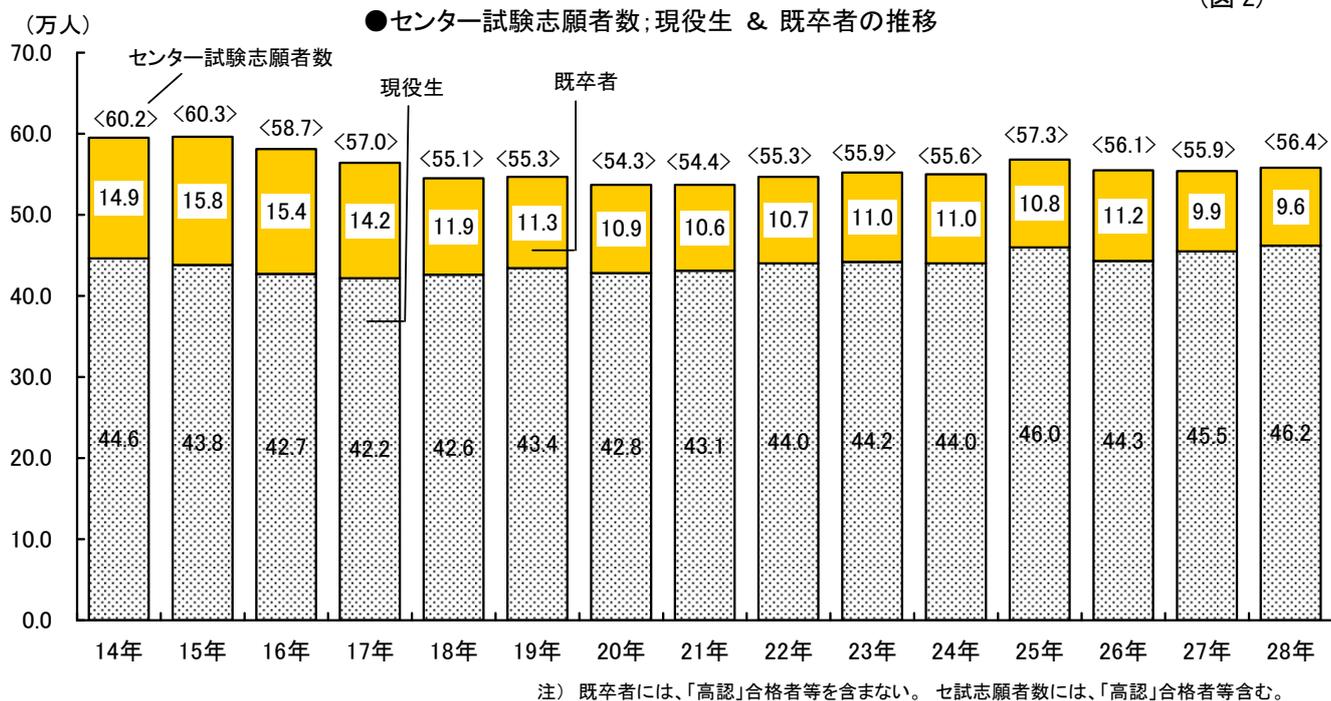
#### ⑥ 「2教科以下」志願者の割合、前年と同じ3.4%

「2教科以下」志願者は、前年より456人(2.4%)増の1万9,271人で、全志願者に占める割合は前年と同じ3.4%である。

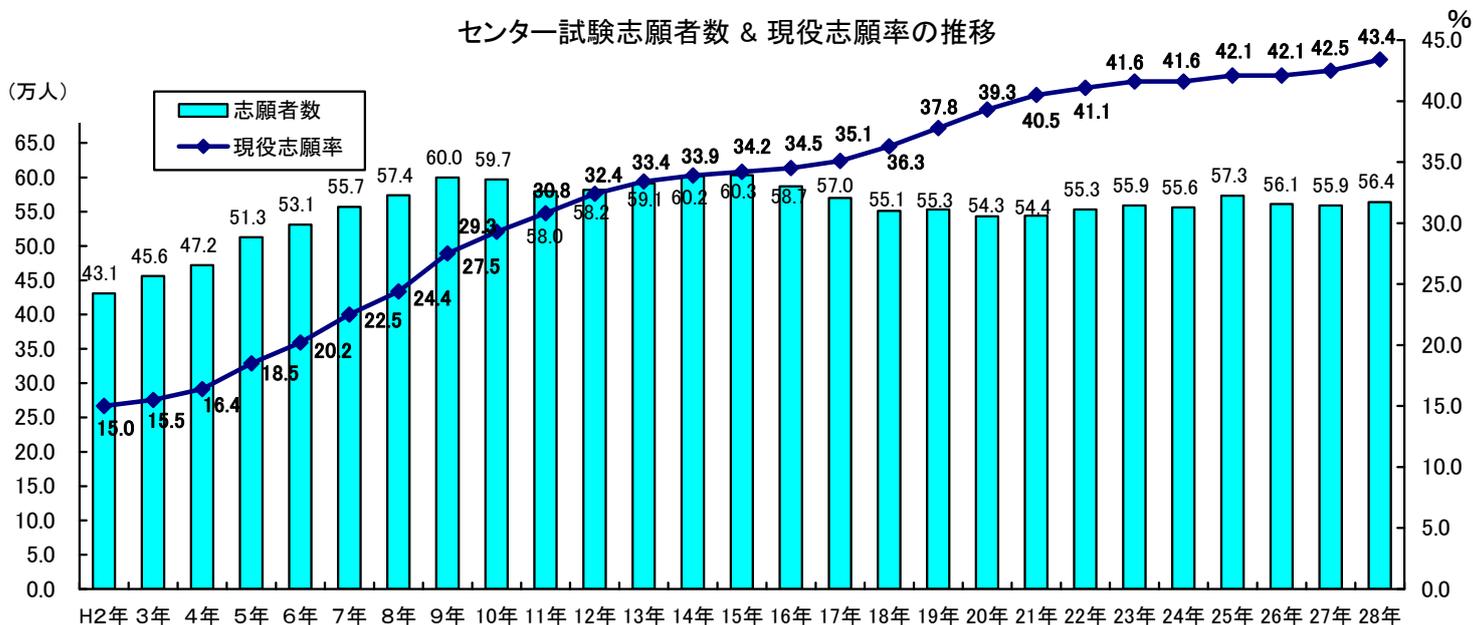
(図1)



(図 2)



(図 3)



☆ 次ページに、「都道府県別 センター試験現役志願率 推移」の一覧を掲載。 ☆

●都道府県別 センター試験現役志願率 推移

	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年	19年
1 北海道	34.6%	33.5%	33.0%	33.0%	32.9%	32.9%	32.1%	31.3%	29.6%	13.4%
2 青森	34.8%	34.1%	33.8%	34.2%	33.7%	32.8%	32.8%	32.1%	31.9%	14.5%
3 岩手	45.0%	42.4%	42.0%	41.0%	41.7%	40.7%	39.3%	39.7%	37.3%	15.8%
4 宮城	37.0%	37.1%	36.6%	37.1%	35.3%	33.9%	33.7%	32.6%	31.0%	11.7%
5 秋田	39.5%	39.8%	39.3%	39.8%	40.1%	39.9%	39.4%	37.5%	35.8%	13.9%
6 山形	37.9%	38.1%	37.0%	37.0%	39.9%	38.7%	38.7%	38.3%	36.9%	16.5%
7 福島	35.8%	34.2%	33.9%	33.6%	31.9%	32.3%	32.2%	32.0%	29.7%	12.7%
8 茨城	45.2%	44.3%	43.4%	43.2%	42.9%	41.9%	43.2%	42.7%	40.1%	11.9%
9 栃木	45.9%	45.0%	43.7%	43.6%	43.3%	44.8%	44.1%	42.6%	41.4%	13.1%
10 群馬	46.3%	45.0%	44.9%	45.7%	45.7%	44.6%	44.4%	44.5%	43.6%	13.9%
11 埼玉	45.6%	44.1%	42.8%	42.6%	41.9%	42.6%	42.2%	41.2%	39.9%	9.4%
12 千葉	41.2%	40.2%	39.5%	39.7%	39.2%	39.5%	39.7%	39.0%	37.9%	9.7%
13 東京	56.2%	54.9%	53.7%	52.7%	51.3%	50.8%	48.8%	48.3%	46.9%	11.8%
14 神奈川	44.2%	43.0%	42.4%	42.6%	41.7%	41.5%	40.9%	40.2%	39.5%	10.4%
15 新潟	46.9%	46.1%	44.8%	43.5%	42.9%	42.6%	41.4%	42.2%	39.2%	12.5%
16 富山	50.6%	51.6%	51.0%	51.3%	51.7%	52.1%	50.8%	50.8%	50.3%	27.7%
17 石川	48.7%	49.8%	48.0%	48.6%	46.7%	48.0%	48.5%	47.5%	46.1%	19.6%
18 福井	44.3%	44.4%	43.9%	43.6%	43.5%	44.4%	45.4%	43.2%	44.7%	22.7%
19 山梨	49.4%	47.3%	47.5%	47.7%	48.4%	48.4%	48.2%	48.6%	45.6%	13.8%
20 長野	43.6%	41.9%	42.2%	42.8%	44.6%	44.0%	42.9%	42.1%	41.0%	12.8%
21 岐阜	42.3%	41.7%	41.0%	41.6%	40.0%	40.9%	40.7%	39.5%	40.1%	18.3%
22 静岡	44.6%	44.8%	44.7%	44.4%	44.6%	43.9%	43.8%	42.4%	41.4%	13.8%
23 愛知	52.1%	52.3%	51.5%	51.9%	51.4%	51.1%	50.5%	49.8%	48.6%	21.2%
24 三重	39.8%	39.3%	39.6%	40.1%	40.3%	41.0%	40.6%	39.1%	38.0%	14.6%
25 滋賀	39.8%	38.9%	39.7%	39.9%	39.8%	39.7%	40.4%	41.0%	39.8%	12.8%
26 京都	34.7%	34.6%	34.7%	34.7%	35.5%	36.0%	36.7%	36.4%	35.5%	12.8%
27 大阪	32.7%	32.1%	32.7%	32.5%	31.2%	31.7%	31.5%	31.8%	31.2%	11.9%
28 兵庫	44.2%	43.9%	42.9%	43.4%	43.1%	43.4%	43.0%	42.8%	42.0%	16.4%
29 奈良	43.8%	44.5%	43.7%	44.0%	43.1%	42.2%	43.9%	43.8%	42.0%	15.5%
30 和歌山	34.8%	33.0%	34.2%	33.2%	33.9%	34.4%	33.6%	34.1%	33.4%	11.8%
31 鳥取	42.9%	40.8%	42.5%	42.9%	43.2%	43.5%	42.9%	40.8%	39.3%	21.2%
32 島根	45.4%	45.4%	46.1%	45.7%	48.3%	46.4%	47.7%	44.7%	44.0%	22.9%
33 岡山	41.5%	40.1%	40.5%	41.3%	40.5%	40.2%	40.4%	39.8%	39.5%	25.7%
34 広島	54.9%	53.0%	51.8%	51.9%	51.6%	52.0%	50.3%	49.9%	49.3%	17.6%
35 山口	36.9%	35.9%	35.4%	37.4%	37.2%	37.4%	37.3%	35.8%	34.7%	19.1%
36 徳島	43.5%	42.4%	42.5%	44.1%	44.0%	46.3%	44.9%	44.3%	42.5%	22.1%
37 香川	41.5%	38.9%	41.5%	40.1%	40.4%	40.8%	41.7%	40.8%	40.8%	20.9%
38 愛媛	45.6%	44.5%	43.6%	43.4%	42.9%	43.1%	43.5%	43.0%	40.7%	22.5%
39 高知	39.4%	38.1%	37.9%	37.4%	36.4%	37.2%	35.7%	33.4%	34.4%	14.4%
40 福岡	45.9%	45.0%	45.3%	45.0%	44.8%	45.9%	44.3%	43.5%	41.6%	19.3%
41 佐賀	41.8%	40.9%	41.6%	41.4%	40.7%	40.3%	41.1%	41.2%	39.7%	18.7%
42 長崎	38.9%	38.2%	38.7%	38.6%	37.6%	37.8%	38.1%	36.5%	35.1%	24.3%
43 熊本	36.6%	35.7%	36.8%	36.1%	35.9%	35.9%	35.5%	34.0%	33.6%	17.0%
44 大分	33.2%	33.8%	33.4%	34.0%	33.4%	33.7%	34.5%	34.8%	33.0%	22.6%
45 宮崎	37.9%	37.3%	38.0%	37.9%	38.4%	38.3%	39.0%	38.8%	37.6%	25.7%
46 鹿児島	38.5%	37.3%	36.9%	37.6%	37.0%	37.3%	36.7%	35.9%	35.7%	22.3%
47 沖縄	28.7%	27.3%	27.1%	27.2%	27.8%	26.9%	24.6%	24.1%	24.5%	14.9%
全国	43.4%	42.5%	42.1%	42.1%	41.6%	41.6%	41.1%	40.5%	39.3%	15.0%

注 ①現役志願率＝高校等新規卒業者(高校全日制3年・定時制4年、中等教育学校後期課程3年在学者)における、センター試験志願者の割合。  
 ②2年はセンター試験初実施の値。  
 ③大学入試センター発表資料による。